

科目名	公共		学年	類型・コース	単位数
			2年	全員履修・普通	2単位
学習の目 標	現代の諸課題を考察し、その手掛かりとなる概念や理論について理解し、人間のあり方について自覚し、国民主権を担う公民としての自覚を深める。そのために議論する力を養う。				
教科書 副教材	主たる教材：『公共』実教出版、 副教材：『公共 演習ノート 新課程版』実教出版				
評 価	評価法	定期考査、小テスト、提出物（振り返りシート、演習ノート、授業ノート、レポートなど）、ペアワークやグループワークでの取り組み、発表などを総合的に評価します。			
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	現代社会の基本的原理について理解することができる。現代社会の諸課題について諸資料から必要な情報を収集し読み取りまとめることができる。	
		b	思考・判断・表現	現代社会の基本的原理や諸課題について多面的・多角的に考察し、自らの考えを論拠をもって表現することができる。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	現代社会の諸課題に関わる具体的な主題を自ら設定し、主題を追求したり解決したりする活動を主体的に行うことができる。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。				

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	【公共の扉】社会を作る私たち 人間としてよく生きる 他者とともに生きる	青年期 自己形成の課題、職業生活と社会参加、伝統・文化と私たち、古代ギリシアの人間観、科学と人間、自由の実現、社会を作る人間、人間と幸福、公正な社会をめざして	定期考査（中間・期末）、小テスト	定期考査（中間・期末）、発表、振り返りシート	発表、演習ノート、授業ノート、振り返りシート
	5月	8	民主社会の倫理/民主国家における基本原理	人間の尊厳と平等、自由・権利と責任義務、民主政治の成立、民主政治の基本原則、民主政治のしくみと課題、世界の主な政治制度			
	6月	8	【よりよい社会の形成に参加する私たち】日本国憲法の基本的性格 日本の政治機構と政治参加	日本国憲法、自由権、平等権、社会権と参政権・請求権、新しい人権、人権の広がりや公共の福祉、平和主義とわが国の安全、こんにちの防衛問題、政治機構と国会、行政権と行政機能の拡大、公正な裁判の保障、地方自治と住民福祉			
	7月	4	日本の政治機構と政治参加	政党政治、選挙制度、世論と政治参加			
夏休み							
2学期	9月	8	現代の経済社会	経済主体と経済活動の意義、経済社会の変容、市場のしくみ、市場の失敗、現代の企業、国民所得	定期考査（中間・期末）、小テスト	定期考査（中間・期末）、振り返りシート	発表演習ノート、授業ノート、振り返りシート
	10月	8	現代の経済社会、日本経済の特質と国民生活	経済成長と国民の福祉、金融の役割、日本銀行の役割、財政の役割と租税、日本の財政の課題、戦後日本経済の成長と課題、中小企業			
	11月	8	日本経済の特質と国民生活	農業と食糧問題、消費者問題、公害と環境保全、労働問題と労働者の権利、社会保障の役割と課題			
	12月	4	国際政治の動向と課題	国際社会と国際法、国際連合と国際協力、国際政治、人種・民族問題、軍拡競争から軍縮へ、国際平和と日本の役割			
冬休み							
3学期	1月	6	国際経済の動向と課題	貿易と国際収支、外国為替市場、第二次世界大戦後の国際経済、地域的経済統合の進展、国際経済のつながりと課題	学年末考査、小テスト	学年末考査、発表、振り返りシート、レポート	発表、演習ノート、授業ノート、振り返りシート、レポート
	2月	6	【持続可能な社会づくりの主体となる私たち】現代の諸課題	現代の諸課題の探究：課題の設定と資料・情報の収集			
	3月	4	現代の諸課題の探究とまとめ	設定した課題について収集した資料・情報を分析し、考察を行う。論述や発表、ディベートなどを通じてまとめるを行う。			

担当者からのメッセージ（学習方法など）

ノートやプリントの復習を大切にしましょう。また、毎時間、教科書や演習ノートなど忘れ物がないように注意しましょう。